

DERWENT-ACC- 2003-563720

NO:

DERWENT-WEEK: 200353

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Ear conch raising hearing aid for person, uses arm attached to spectacles frame, to raise ear conch portion and heighten hearing acuity

PATENT-ASSIGNEE: KANZAKI N[KANZI]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0402749 (December 13, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2003189398 A	July 4, 2003	N/A	002	H04R 025/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2003189398A	N/A		2001JP-0402749 December 13, 2001

INT-CL (IPC): H04R025/00, H04R025/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003189398A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The hearing aid has an arm (3) attached to the spectacles frame. The ear conch is raised by the arm and the hearing acuity is heightened. The hearing aid is of a non-electric power type.

USE - For enhancing the hearing capability of hearing- impaired persons at the time of attending a meeting, concert or lecture hall.

ADVANTAGE - The sound collecting effect can be increased without using electric power and the hearing acuity can be improved. The device can be attached in one touch and made compact.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a perspective view of the structure of the ear conch raising hearing aid. (Drawing includes non-English language text).

ear conch reliance 2

arm 3

spring-type clip 4

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/2

DERWENT-CLASS: W04

EPI-CODES: W04-Y;

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-189398

(P2003-189398A)

(43) 公開日 平成15年7月4日 (2003.7.4)

(51) Int.Cl.
H 04 R 25/00

識別記号

F I
H 04 R 25/00

テマコード (参考)
R

25/02

25/02

B

A

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全2頁)

(21) 出願番号 特願2001-402749 (P2001-402749)

(71) 出願人 502031120

神崎 直城

宮崎県宮崎市高洲町268-55

(22) 出願日 平成13年12月13日 (2001.12.13)

(72) 発明者 神崎 直城

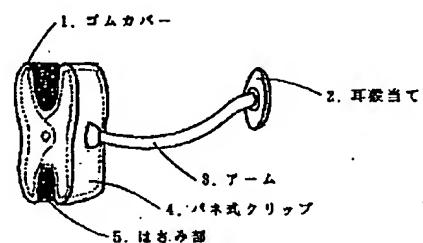
宮崎県宮崎市高洲町268-55

(54) 【発明の名称】 耳殻起こし補聴器

(57) 【要約】

【目的】耳殻を起こすことにより、無電力で集音効果を増大させ、聴力を高める補聴器。装置はワンタッチで取り付けられ、コンパクトであり、効果を得ることができる。

【構成】メガネのフレームにゴムカバー1したバネ式クリップ4を、はさみ部分5で装着し、個人の耳殻の形状に合わせてアーム3を調整し、耳殻当て2により、耳殻の裏側から耳殻を起こす。



【特許請求の範囲】

【請求項1】メガネフレームにアームを取り付け、耳殻部を起こすことにより聴力を高める無電力の補聴器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、メガネのフレームにフレキシブルホースによるアームを取り付け、耳殻部を起こすことにより、集音効果を増大させ、聴力を高めることを可能にしたものである。また、本装置は簡便に脱着でき、小型で構造も簡単である。

【0002】

【従来の技術】従来、聴力を補うためには電力を必要とする装置を耳穴に装着していたが、高価な上に反響、外観等で装着に難色を示す人が多かった。

【0003】

【発明の実施の形態】本発明はその欠点を除くためになされたもので、図面について説明すれば、メガネのフレーム（耳かけ部分）にゴムカバー1したバネ式クリップ

4を、はさみ部分5で装着し、個人の耳殻の形状に合わせてアーム3を調整し、耳殻當て2により耳殻の裏側から耳殻を起こし、集音効果を増大させる。なお、本発明の装着位置は必ずしもメガネフレームの耳かけ部分でなくてもよく、装置の形状、材質においても、耳殻を起こす事が可能なものであればよい。

【0004】

【発明の効果】このような簡単な構造で聴力が高まるところから、コンサート、広い部屋での会議、講演、学校の授業等の際にも効果を發揮し、使用対象者は難聴者のみならず、大衆に及ぶ。

【図面の簡単な説明】

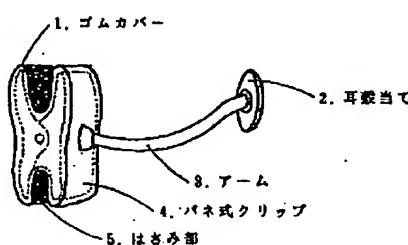
【図1】本発明の斜視図である。

【図2】本発明の一部を切り欠いた図である。

【符号の説明】

1. ゴムカバー 2. 耳殻當て 3. アーム
4. バネ式クリップ 5. はさみ部

【図1】



【図2】

